



令和6年度夏期環境家計簿モニター モニターさんの声

皆さんからいただいた省エネへの取組方法や感想などをご紹介します。今後の参考として、ご一読ください。

《モンデオ》

電気、ガス共に昨年より増加しているのは、大きな原因は猛暑によるエアコンの使用と、シャワーの利用増加（一日に2回浴びることもあった）ではないかと思う。エアコンは就寝から朝までがほとんどだったので、それ以外に考えられない。省エネ対策は今のところ手詰まり。

《たけまる》

今夏は熱帯夜が多く、エアコンなしでは眠れない暑さだったこともあって電気代が例年より上昇した。扇風機や卓上ファンの使用に加え、今年度から子供向けのネッククーラー（冷凍庫で凍らせて首の周りに巻いて冷やすもの）も導入したものの、電気代削減には繋げることはできなかった。

《R&M》

7、8、9月ともエアコンは28℃に設定し、節電に努めた。6月に行った家のリフォームにより、キッチンのガスコンロをIHクッキングヒーターに変えたため、電気の使用料が増えたが、CO₂の排出量は減った。

《松木ちゃん》

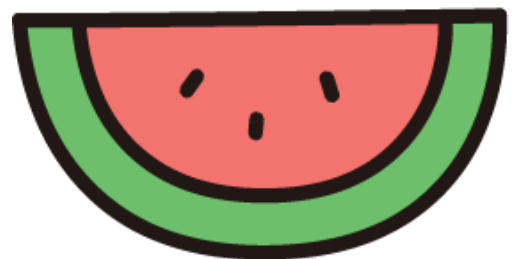
猛暑日が続き、昨年以上に夜エアコンをつけて寝る日が多かったため、エネルギー使用量が前年よりも増加してしまった。体調面を考慮してのことなので、モニター期間以外でも省エネ行動に努めていきたいと思う。

《おっちゃん》

7月：今年は例年と違って暑すぎた。昨年との使用量は、電気は117.5%、ガスは102.9%となった。両方の合計料金では昨年の121.4%だ。

8月：暑い日が続いている35℃は全国どこでも記録するようになった。何処にも行けず家でクーラーの24時間付けっぱなし、毎日風呂を焚くも2回焚き直しするもしばしば。昨年との使用量は電気128.7%、ガス173.9%、合計金額169.7%だ。物の値上げラッシュに光熱費も合わせ家計に大いに響く。

9月：20日頃から気温が秋らしくなってきた。昨年との使用量は電気118.2%、ガス96.4%、合計金額129.9%となった。辛うじてガスが100%以下となった。



《K1SK》

今年の夏は暑さに耐えらず、夜も冷房をつけて寝ていたので、電気使用量がとんでもないことになりました。

暑いのに、私の懐は電気代の出費で寒くなりました。トホホ・・・。

暑いと熱中症だし、部屋を冷やしすぎると風邪を引いてしまいますし、日本の夏は困ったものですね。

《タカ》

エアコンの温度設定や照明器具等のこまめなスイッチのオン・オフを心がけた。

猛暑厳しく、家にいる時や夜寝る時もエアコンをフル稼働した。昨年度よりも電気料金は上がってしまったが、電気の使用量が少しだけ下がっていてホッとしている。

これからも省エネを心がけていく。

《アクセス》

電気：暑い日が続いているので、エアコン使用が増えたと推定する。

ガス：詳細不明だが、シャワー時間や調理時間が増えたのではないかと推定する。

《まるみ》

クーラーと扇風機の併用。設定温度は28℃。それでも寒く感じる時もある。随時、温度変更や風量の調節をして過ごすように心がけている。お風呂に家族が時間をあけずに続けて入るようにすれば、追い焚きするエネルギーは減らせるのでそのようにしたいが、家族の協力を得るのが難しい。

3人で暮らしていて、それぞれが部屋でクーラーをつけていることがもったいなくてなんとかしたい。ただ、年頃の子供（中学生）の自分の部屋を締め切って過ごしたいという気持ちは尊重したい。結果、それぞれの部屋でクーラーをつけることに。エネルギー消費に対する親の思いが子どもに伝わるよう努力が必要。

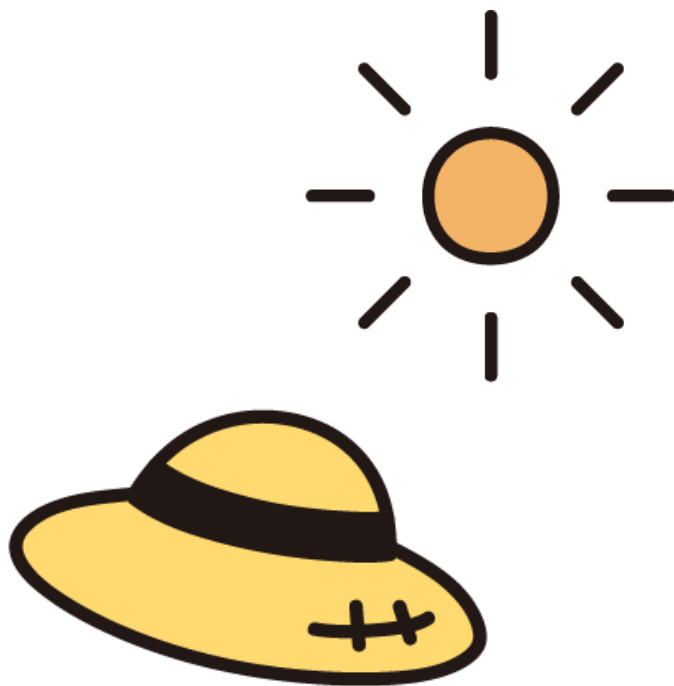
まだまだ暑さが終わらず、クーラーに頼らないと命の危険さえ感じてしまう。エネルギー消費は気になるが、イライラせず快適に暮らしたい。今後クーラーに頼る以外の夏を快適に暮らす方法は断熱かなと考えている。

《Happy》

7月：今年は前年に比べて気温が涼しい日が多かったため、エアコンの使用を控えるなどの省エネに取り組んだところ、電気使用量を前年同月比で68%にまで削減することができた。

8月ウォッシュレットの便座と温水機能を共にオフにしました。しかし、前月の涼しさから一転して暑い日が続いたこともあり、エアコンの使用が増えたため、電気使用量は前年同月比で125%と増加してしまいました。

9月前月に引き続き、ウォッシュレットの便座と温水機能をオフにしたまま使用している。しかし、残暑が厳しい日が多く、日中のみならず、夜間の睡眠時にもエアコンを使用する日が増えたため、電気使用量が前年同月比で135%と大幅に増加してしまいました。



《マルセリーノ》

今夏の入浴は毎日のように銭湯や外泊先で済ませたのと、調理は電気コンロを使ったので、ガスはほとんど使っていない。

《あっきき》

酷暑だったので厚手のカーテンを閉めた状態にしていた。

設定温度は28℃で風量を調節。落雷の影響でエアコンが故障した。

孫が来ていたので、エアコンの設定温度を26℃に設定して昼夜運転していたが、これ位で済んだのはカーテンやサーキュレーターを使用したからかと思う。

《素浪人》

●結果的にみて、電気料金は・・・前年比28.6%・使用量前年比6.5%と上回った、また・・・ガス料金前年比16%・使用量5.4%といずれも大幅にUPした。CO₂削減は残念ながら前年比を下回った。確かに温度を一昨年と比較しても平均気温が1.76℃高かったと報告されている。そんな中、電気器具としてエアコン及び、扇風機が主体、いずれにしても24時間稼働が3ヶ月間に3分の1以上あったと記憶しております。またガス使用に関して、夜の風呂はもとより、外出した後にはシャワーの使用があり、ガスの使用量は昨年より増加してしまった。こんな理由からこの夏のCO₂削減には協力することができなかった。

とにかく暑い夏であった！！老夫婦2人生きること優先に、やむ負えない対策であったと考える。

●今年の冬季にはCO₂削減に再挑戦しようと考えております。

《C.T》

何故去年と比べてこんなに上がったのか見当もつかない。梅雨時何度か使用した浴室乾燥？？去年と違い1週間ほど留守にしていた時もあったのにガス使用量が増えているのが残念だしなぜかわからない。

《キタマチフジ》

観測史上最多の猛暑日（35℃以上）を更新し、夏日（25℃以上）の日数が150日と記録づくめの年となった。連日のエアコン使用を余儀なくされ、例年並みの節電は不可能な夏であった。

《松木ちゃん》

猛暑日が続き、昨年以上に夜エアコンをつけて寝る日が多かったため、エネルギー使用量が前年よりも増加してしまった。体調面を考慮してのことなので、モニター期間以外にも省エネ行動に努めていきたいと思う。

